

# 安全データシート (SDS)

作成日：2009年04月01日

改定日：2022年04月01日

## 1. 製品及び会社情報

### 製品

製品名 ボーソーボンド

### 会社情報

会社名 シンレキ工業株式会社

住所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目38番1号

緊急連絡先 中央研究所

電話番号 044-366-1617

FAX番号 044-366-1618

### 推奨用途及び使用上の制限

・当社製品ボーソーボンドT及びTCのプライマーとして使用。(業務用)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

可燃性・引火性エアゾール	区分2
高压ガス	液化ガス
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(吸入 - 蒸気)	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器・全身毒性 - 単回暴露	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性 - 反復暴露	区分1(中枢神経系、末梢神経系)
誤えん有害性	区分1
水生環境急性有害性	区分2
水生環境慢性有害性	区分に該当しない

※ その他記載が無いものは分類対象外又は分類できない。

### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

#### 危険有害性情報

・可燃性、引火性のエアゾール

- ・加圧ガス：熱すると爆発のおそれ
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・呼吸器への刺激のおそれまたは、眠気またはめまいのおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器（中枢神経系、末梢神経系）の障害
- ・飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・水生生物に毒性

## 注意書き

### 〔予防策〕

- ・使用前に安全データシート（SDS）を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱／花火／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－ 禁煙
- ・裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
- ・加圧容器：使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保護眼鏡／保護面／保護手袋を着用すること。
- ・指定された個人用保護具を使用すること。

### 〔対応〕

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。気分が悪いとき

は、医師に連絡すること。

- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。取り扱った後、手を洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・衣類にかかった場合：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

### 〔保管〕

- ・日光から遮断し、50℃を超える温度にばく露しないこと。
- ・換気の良い場所で、施錠して保管すること。

### 〔廃棄〕

- ・内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って適正に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別	・混合物	
化学名または一般名	・スチレンブタジエン系接着剤	
化学式	・特定できない	60 ~ 70 %
成分及び含有量	・① スチレンブタジエンゴム等	
	・② ノルマルヘキサン	25 ~ 35 %
	・③ ジメチルエーテル	1 ~ 5 %
	・④ 飽和炭化水素	1 %未満
CAS 番号	・① 非公開 ② 110 - 54 - 3 ③ 115 - 10 - 6 ④ 非公開	
官報公示整理番号 (化審法)	・① 非公開 ② (2) - 6 ③ (2) - 360 ④ 非公開	
	(安衛法) ・①、②、③、④ 化審法を準用	

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

- ・新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。

#### 皮膚に付着した場合

- ・付着した身体部位を水で洗浄する。また、汚染された衣類を直ちに脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼水で洗う。皮膚の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受ける。

#### 眼に入った場合

- ・水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受ける。

#### 飲み込んだ場合

- ・無理に吐かせないで、速やかに医師の診断／手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。気道に入ったと思われるときは、直ちに医師の診断／手当てを受ける。

#### 最も重要な徴候及び症状

- ・めまい、頭痛、吐き気を催した場合、速やかに作業を中止し、新鮮な空気を吸入する。

#### 応急措置をする者の保護

- ・有害物質に触れないように保護具を着用する。

#### 医師に対する特別な注意事項

- ・有機溶剤中毒と同様な処置が必要である。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

- ・粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂が有効である。

#### 使ってはならない消火剤

- ・棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。

#### 特有の危険有害性

- ・極めて燃えやすい、熱、火花、火災で容易に発火する。
- ・加熱により容器が爆発するおそれがある。
- ・燃焼の際は、刺激性、毒性、または腐食性のガスを生成するおそれがある。

### 特有の消火方法

- ・火元の燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。
- ・火災の現場にエアゾール製品があると破裂するおそれがあるので、消火活動には距離を十分に取る。

### 消火を行う者の保護

- ・消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用する。
- ・消火作業を行う者は、空気呼吸器等の保護具を着用し、酸素欠乏及び有害ガスから身を守ること。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には、屋上で行き、着火した場合に備えて消火用保護具を着用し、消火用器材を準備する。

### 環境に対する注意事項

- ・河川、下水道等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。万一、公共水域へ流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届け出ること。

### 回収、中和

- ・少量の場合：土、砂、ウエス等に吸収させ、回収する。
- ・大量の場合：盛土で囲って流出を防止し、容器に回収する。

### 二次災害の防止策

- ・漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- ・周囲の着火源を取り除き、消火用器材を準備する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

- ・眼及び皮膚に触れる可能性があるため、作業の際には保護具を着用する。
- ・火災に向かって噴射しないこと。
- ・使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

#### 局所排気・全体換気

- ・室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行い、火気に注意する。
- ・「8. 暴露防止及び保護措置」を参照。

#### 注意事項

- ・熱、火花、炎、高温体等との接地を避けるとともに、みだり蒸気を発散させないこと。

#### 接触回避

- ・酸化性物質との接触を避ける。
- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 安全取扱い注意事項

- ・火気厳禁。

#### 保管

##### 技術的対策

- ・炎及び高温のものから遠ざけること。

##### 混触禁止物質

- ・酸化性物質との接触を避ける。
- ・「7. 取扱い及び保管上の注意」及び「10. 安定性及び反応性」を参照。

**保管条件**

- ・火気厳禁。
- ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
- ・容器を密閉し、保管場所に施錠すること。
- ・水回りや湿度の高いところに置くと、缶が錆びて内容物が漏出または噴出するおそれがある。

**容器包装材料**

- ・製品使用容器に準ずる。

**8. 暴露防止及び保護措置**

**設備対策**

- ・ミストが発生する場合は発生源の密閉、または排気装置を設ける。
- ・取扱場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

**管理濃度**

- ・製品に対する有用な情報なし。

**許容濃度**

- ・製品に対する有用な情報なし
- ・日本産業衛生学会 40 ppm 140 mg/m<sup>3</sup> 皮（ノルマルヘキサンの成分情報）<sup>a)</sup>
- ・米国産業衛生専門家会議（ACGIH） TLV – TWA 50 ppm skin : BEI  
(ノルマルヘキサンの成分情報)<sup>b)</sup>

**保護具**

**呼吸器の保護具**

- ・状況に応じて、防毒マスク（有機ガス用）等を着用する。

**手の保護具**

- ・状況に応じて、耐油性型の保護手袋等を着用する。

**眼の保護具**

- ・状況に応じて、保護眼鏡等を着用する。

**皮膚及び身体の保護具**

- ・状況に応じて、耐油性型の長袖作業着等を着用する。

**衛生対策**

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状態、形状、色など	乳白色の液体
臭い	ヘキサン臭気
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	- 23 ~ 67 °C（沸点）
引火点	- 41 °C
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重（相対密度）	0.76 ± 0.02 g/cm <sup>3</sup> (20 °C)

溶解度	水に不溶、有機溶剤に可溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

- ・常温で暗所に貯蔵、保管された場合は、安定である。

### 危険有害反応可能性

- ・酸化剤との接触を避ける。

### 避けるべき条件

- ・混触危険物質と接触しないこと。

### 混触危険物質

- ・強酸化剤、酸と接触しないよう注意する。

### 危険有害な分解生成物

- ・燃焼した際は、刺激性のヒューム等の有毒ガスが発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

- ・製品に対する有用な情報なし
- ・経口                      ラット    LD 50                      換算値： 19634 mg/kg      (ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>
- ・吸入 (蒸気)              ラット    LCLO                      換算値： 135.46 mg/L/ 4 H (ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

### 皮膚腐食性・刺激性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・ヒトばく露例で皮膚刺激性がみられた。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

### 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・環境省リスク評価のヒトばく露例で眼への刺激性が認められた。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

- ・製品に対する有用な情報なし。

### 生殖細胞変異原性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・げっ歯類を用いる優性致死試験で陰性の結果、ほ乳類赤血球を用いる小核試験で陰性の結果、ほ乳類骨髄細胞を用いる染色体異常試験で陰性である。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

### 発がん性

- ・製品に対する有用な情報なし。

### 生殖毒性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・ラットへの吸入ばく露により精子形成阻害を伴う精巣の組織障害が認められ、精巣に影響が認められる1,000 ppm ばく露では、筋萎縮や体重減少も示されている。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

### 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

- ・製品に対する有用な情報なし。

- ・ヒトで急性吸入毒性としてめまいや中枢神経系抑制などが見られ、ヒトの吸入ばく露により気道刺激性及び麻酔作用がある。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

**特定標的臓器・全身毒性－反復暴露**

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・ヒト慢性ばく露例で多発性神経障害（感覚神経及び運動神経の障害）が認められ、標的臓器は中枢神経系及び末梢神経系と判断される。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

**誤えん有害性**

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・炭化水素であって、かつ 40 °Cでの動粘性率が 20.5 mm<sup>2</sup>/s 以下であることから吸引性呼吸器有害性があるとした。ラットで Aspiration により化学性肺炎が認められた。

**1 2. 環境影響情報**

**生態毒性**

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・甲殻類 オオミジンコ LC 50 3.88 mg/L/ 48 H (ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

**残留性・分解性**

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・急速分解性がある (BOD による分解度 : 100 %)。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

**生体蓄積性**

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・生物蓄積性が低いと推定される。(ノルマルヘキサンの成分情報) <sup>○</sup>

**土壌中の移動性**

- ・製品に対する有用な情報なし。

**1 3. 廃棄上の注意**

- ・空容器を廃棄するときは、ガスを完全に除去すること。
- ・事業者は産業廃棄物（残余廃棄物、汚染容器及び包装）を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
- ・投棄禁止。
- ・焼却する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うと共に、見張り役をつけること。
- ・その他、関係法令の定めるところに従う。

**1 4. 輸送上の注意**

**国際規制**

国連番号	・ 1950
品名	・ エアゾール類
国連分類	・ クラス 2.1 (引火性ガス)
容器等級	・ 非該当
海洋汚染物質	・ 非該当

## 国内規制

・下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規制に従った容器、積載方法により輸送する。

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <p><b>陸上</b> 消防法</p> <p>労働安全衛生法</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物 引火性液体 第四類第一石油類（非水溶液） 危険等級II<br/>指定数量 200 ℓ</li> <li>・表示対象物質（ノルマルヘキサン）</li> <li>・通知対象物質（ヘキサン）</li> </ul> |
| <p><b>海上</b> 船舶安全法</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引火性液体類、高圧ガス</li> </ul>  |
| <p><b>航空</b> 航空法</p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引火性液体、高圧ガス</li> </ul>   |
| <p><b>緊急時応急措置指針</b></p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指針番号 126</li> </ul>   |

## 安全対策

- ・該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転落、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

## 15. 適用法令

- |  |   |
|--|---|
| <p>化学物質管理促進法（PRTR法）</p> <p>労働安全衛生法</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一種指定化学物質 ノルマルヘキサン（第392号）</li> <li>・表示対象物質 ノルマルヘキサン（第27号）</li> <li>・通知対象物質 ヘキサン（第520号）</li> <li>・危険物「引火性のもの」（ノルマルヘキサン）</li> <li>・有機物「第二種有機溶剤等」（ノルマルヘキサン）</li> </ul> |
| <p>消防法</p>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物 引火性液体 第四類第一石油類（非水溶性）<br/>危険等級II 指定数量 200 ℓ</li> </ul>   |
| <p>船舶安全法</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引火性液体類、高圧ガス</li> </ul>  |
| <p>航空法</p>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引火性液体、高圧ガス</li> </ul>   |

## 16. その他の情報

### 参考資料

- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示および安全データシート (SDS) JIS Z 7253:2012
- 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度（平成24年10月）
- 製品評価技術基盤機構（NITE）
- a) 許容濃度の勧告 日本産業衛生会（2005）
  - b) 米国産業衛生専門家会議（ACGIH）“Threshold limit values and biological exposure indices”（2005）
  - c) 安全衛生情報センター

## 記載内容の取扱い

- ・安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者へ提供されるものです。取扱う業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
- ・すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見



の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。なお、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

---

**記載内容の問い合わせ先**

- |          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| ・担当部門    | シンレキ工業株式会社 中央研究所                  |
| ・住所      | 〒 210 - 0867 神奈川県川崎市川崎区扇町 6 番 2 号 |
| ・電話番号    | 044 - 366 - 1617                  |
| ・FAX 番号  | 044 - 366 - 1618                  |
| ・メールアドレス | kenkyu@shinreki.co.jp             |
| ・受付日時    | 月曜日 ~ 金曜日（祝日は休業） 8:30 ~ 17:30     |
-